

# CTRソフトウェアにおけるD e f o c u s 処理の扱い

2018年11月24日

HelperTex Office

## 概要

C D Rにおける極点測定では極点図の外側は極点図の中心に比べ測定強度が低下します。本来、無配向試料の極点図は、極点図強度がどの ( $\alpha$ 、 $\beta$ ) でも一定にならないので無配向試料の極点図が一定になる様に極点図の逆数を極点図に掛け合わせ補正します。

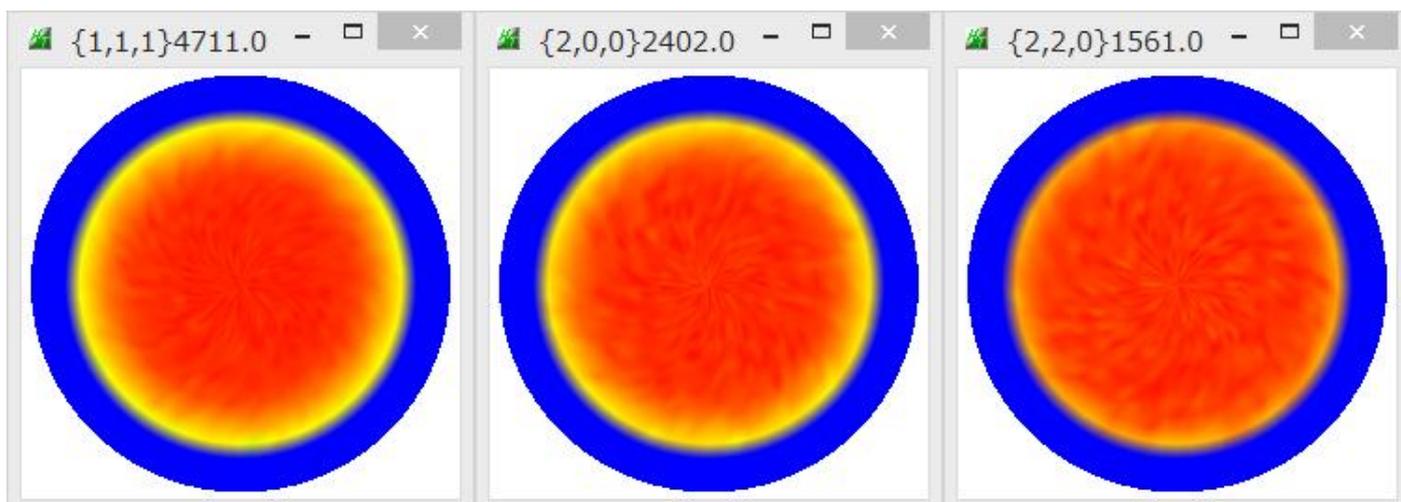
C T Rソフトウェアでは、この処理が簡単操作で可能になります。

以下に手順を説明します。

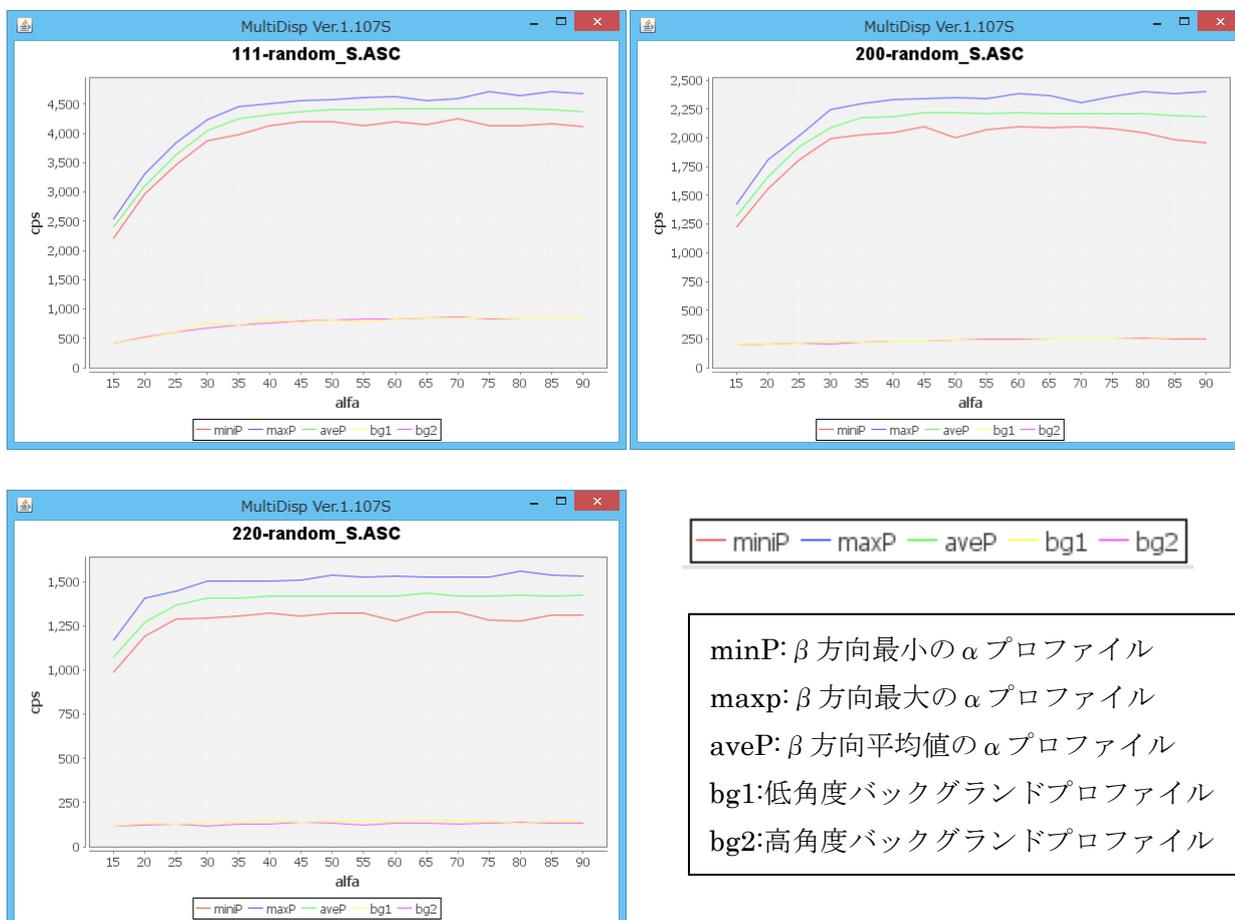
極点図のファイル名の先頭は指数から始まる様にする。

## 使用する極点図

アルミニウム粉末の極点図



## 極点図の $\alpha$ プロファイル



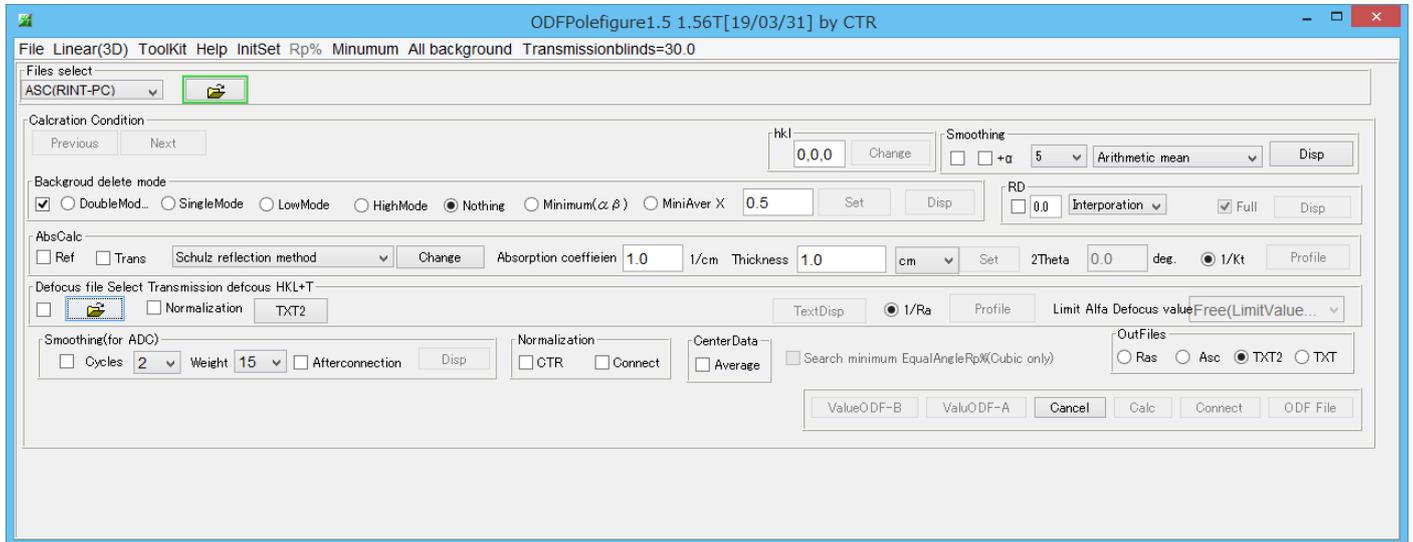
バックグラウンドを削除した a v e p の逆数を求め、T A B L E 化します。

## 極点データ処理

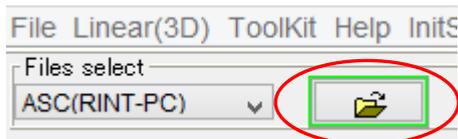
ODFPoleFigure1.5 あるいは ODFPoleFigure2 を用います。

ODFPoleFigure1.5 用いて説明します。

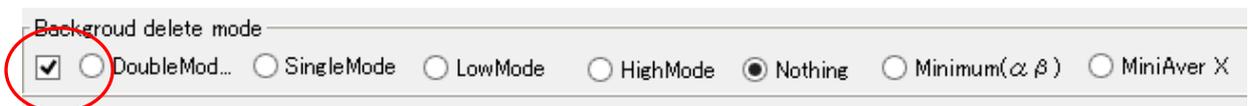
Random データを複数選択し、バックグラウンドを削除し、defocusTABLE を作成し、登録を行います。



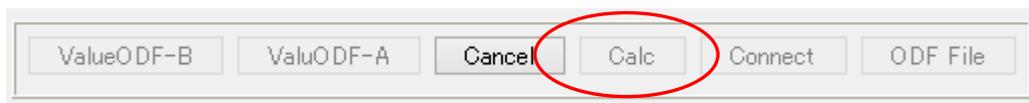
Random データを複数選択



バックグラウンドを削除



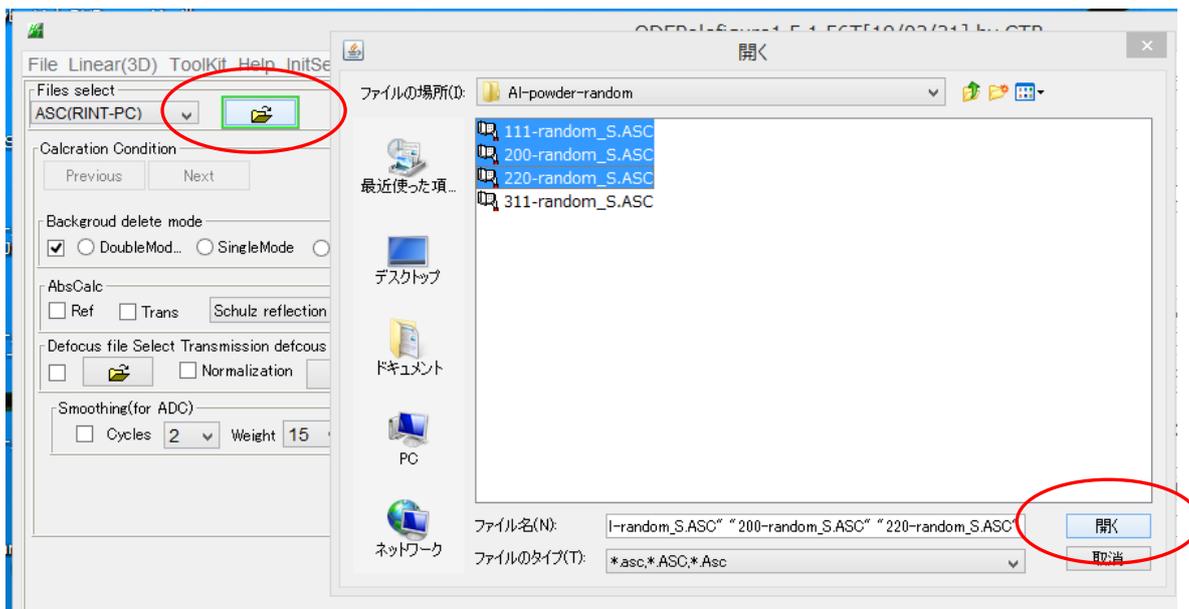
極点処理



DefocusTABLE を作成



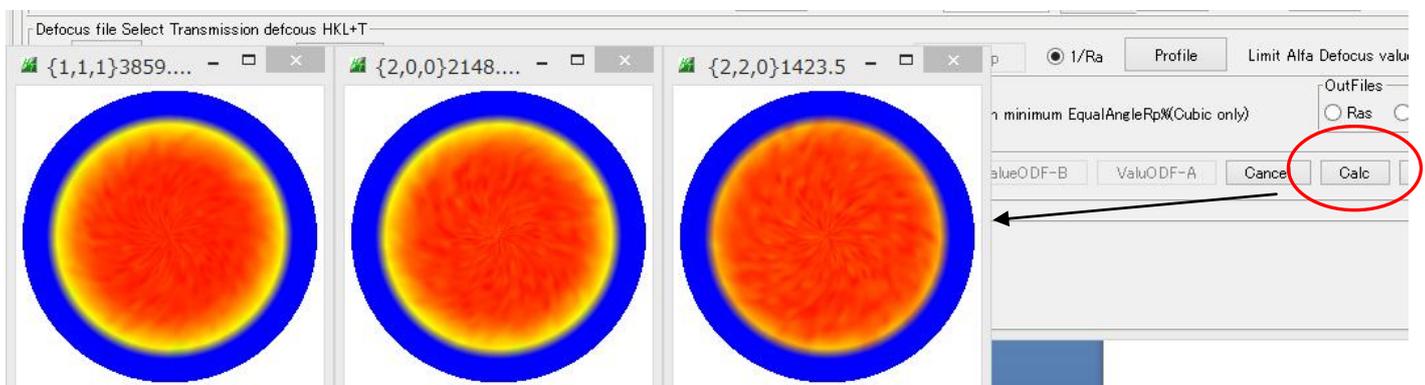
# 操作



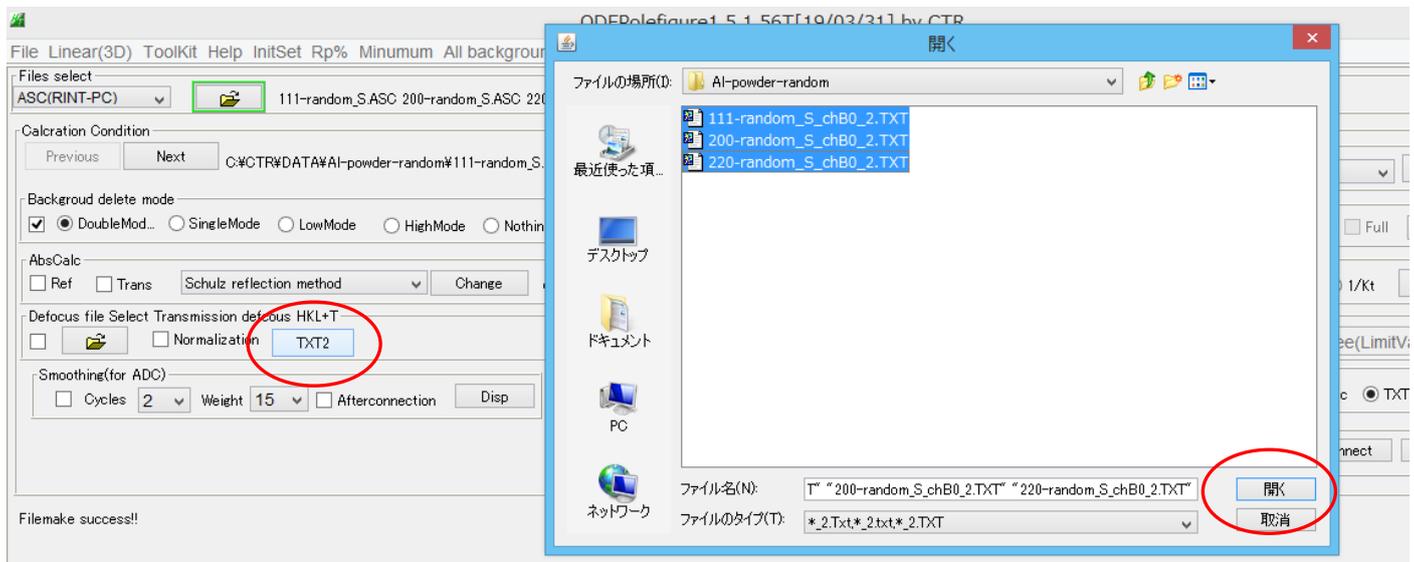
選択した極点図が表示される



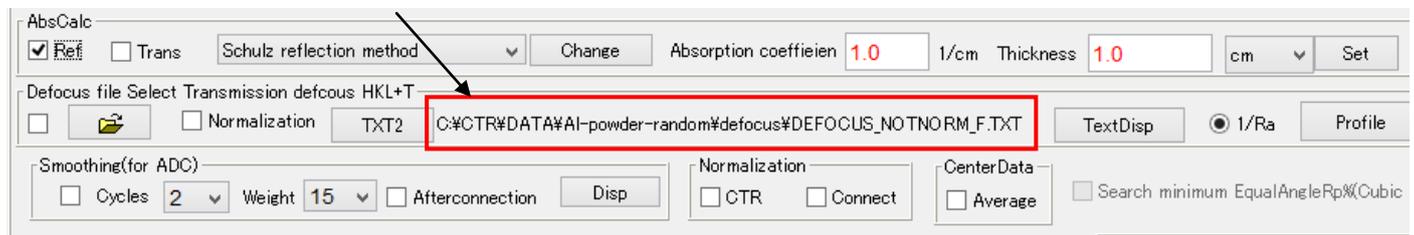
C a l c でバクグラウンドが削除され、極点図が表示される



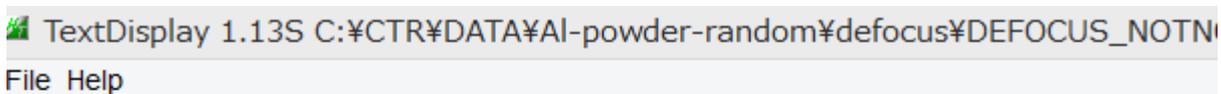
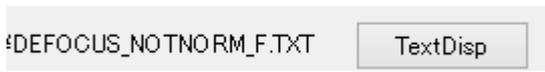
バックグラウンドが削除された極点図を defocus に登録



defocus TABLE が登録される。

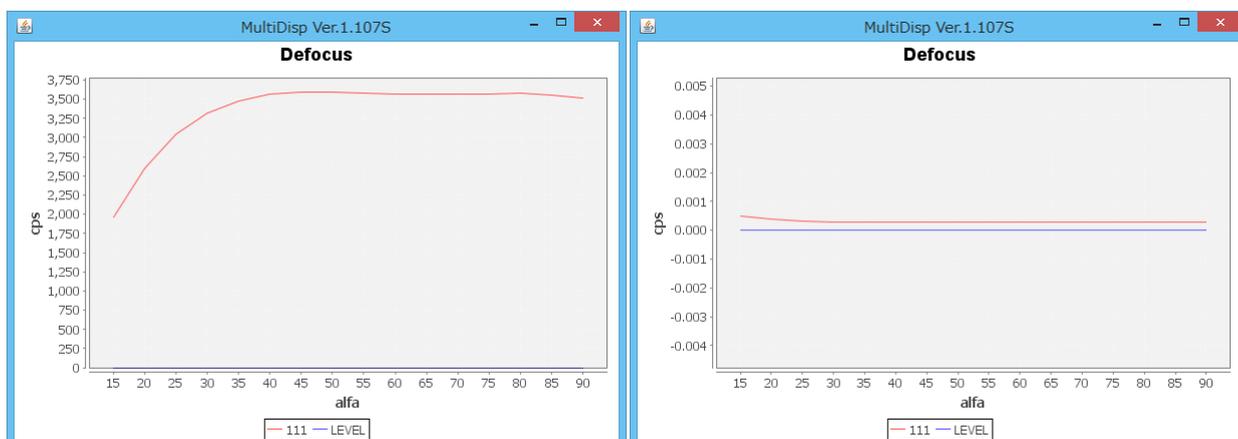


T A B L E 確認



filename, alfa number, alfa start angle, alfa step, function-n, mm, 18/11/24 3.10 for DefocusCalc,  
 111-random\_S\_chB0\_2.TXT, 16, 0.0, 5.0, 5, 7.0, 3516.9457801828707, 12.807073728458318, -0.9  
 200-random\_S\_chB0\_2.TXT, 16, 0.0, 5.0, 5, 7.0, 1922.8953012286684, 6.552151963124216, -0.42  
 220-random\_S\_chB0\_2.TXT, 16, 0.0, 5.0, 5, 7.0, 1289.661302630016, -5.362918397890921, 0.707

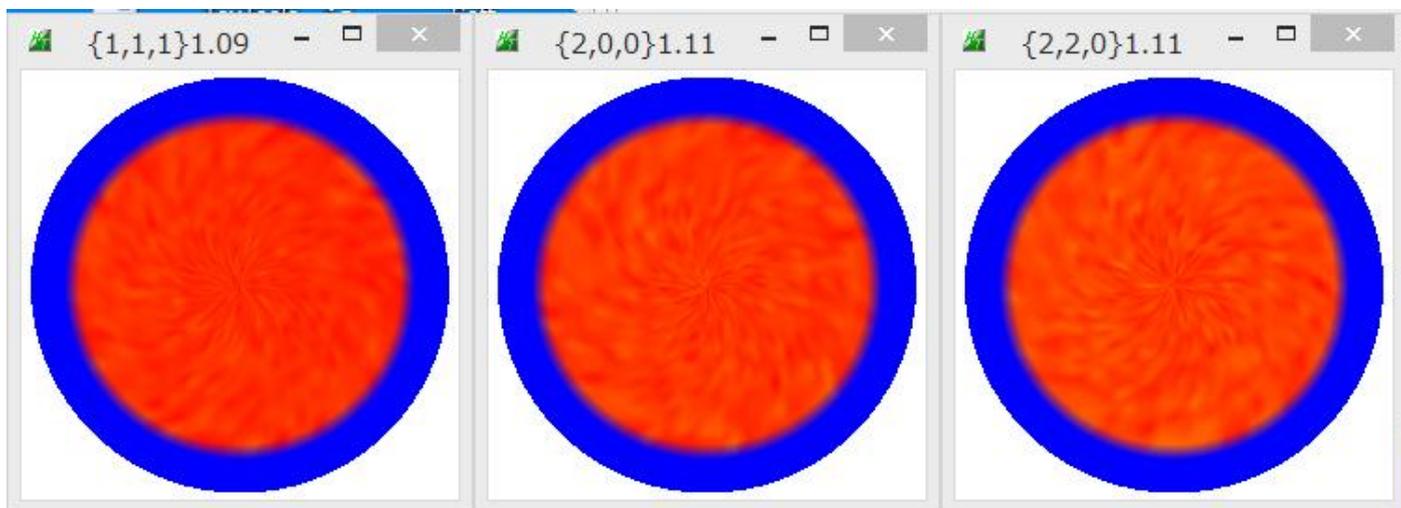
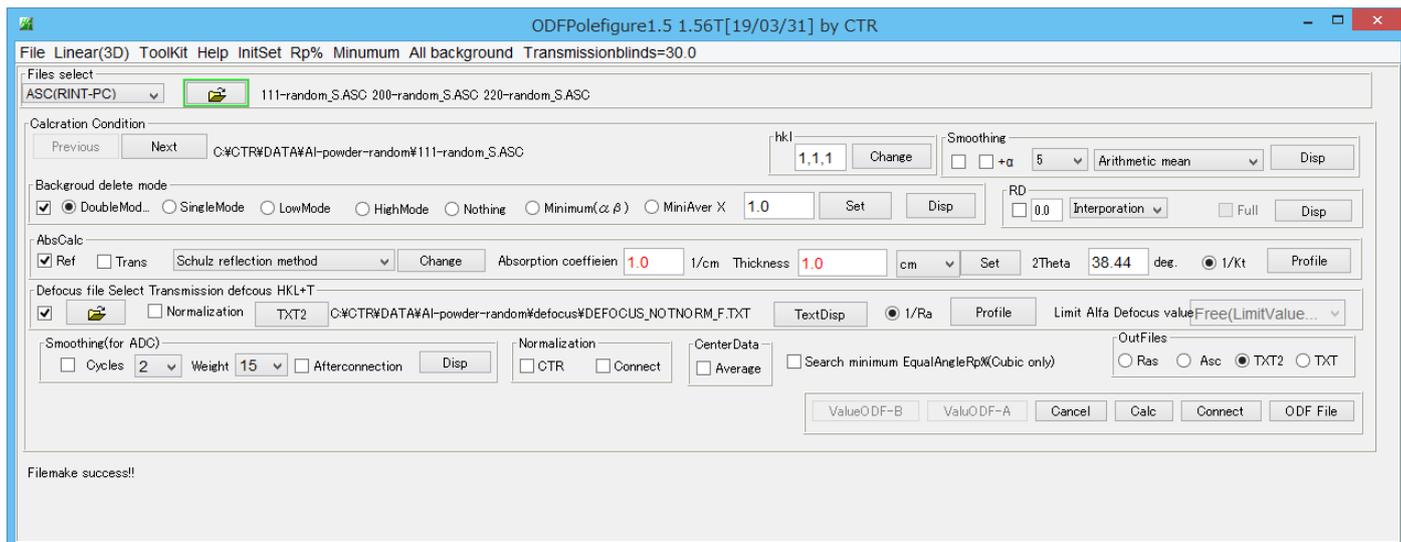
α プロファイルの確認



逆数で表示

## defocusTABLE機能の確認

作成された defocusTABLE で無配向極点図の補正を行ってみます。



極点図がフラットになります。